



# 梓川高等学校だより

発行 長野県梓川高等学校 第2号 平成23年7月15日 長野県松本市波田10,000-1 tel.0263-92-2119 fax. 0263-91-1027

## キャリア教育 進路決定に向けての取り組み～より明確な将来の自分の姿を描くために～

梓川高校では2年生より3つのコース(教養・情報・福祉コミュニケーション)から一つを生徒が自ら選択し、その中で進路目標を探索するカリキュラムになっています。さらに、生徒が自分の進路を選択できるようにさまざまな取り組みをおこなっています。



進路説明会(3学年)



進路体験報告会



家庭看護福祉の授業風景

### 6・7月の行事

- 6月3日 進路体験報告会(全校)
- 6月6日 交通安全講話
- 6月7日 芸術鑑賞 「Blendrums」  
(まつもと市民芸術館)
- 6月8・9日 クラスマッチ
- 6月15日 公開授業日・学校評議員会
- 6月16日 進路説明会(3学年)
- 6月16日～7月7日 うち5日間  
就職希望者面接練習実施
- 6月26日 全商簿記検定(情報コース)
- 6月28日～6月30日 1学期期末考査
- 7月3日 日本情報処理検定
- 7月19日～7月22日 懇談会週間
- 7月25日 1学期終業式

### 進路体験報告会を開催しました

6月3日小体育館において、本校を卒業した5人の先輩達を招いて開かれました。「自分の進路をどう決定したか、社会人となって働くことをどう感じているか、後輩たちに望むこと等」をそれぞれ発表してもらい全校の生徒が参加しました。

現在山梨学院大学に通い、今年度教育実習生として母校の教壇に立った中野大義さんは、学ぶことの大切さや、大学に毎日通うことにより色々なものを吸収できたと質問に答えていました。長野県短期大学から都留文科大学に編入し、現在国文学を学びながら就職活動をおこなっている相河愛さんは、高校2年生の時に受験を決意してからは、ひたむきに勉強に取り組んだこと、今は誰かの役に立つ仕事につきたいと願っていると語ってくれました。

8月5日中学生  
体験入学実施

### 公開授業参加者の感想より

(当日60人の来校がありました)

■勉強になりました。娘もとても良い刺激になったようで授業に夢中になって聞いていました。この教室の生徒さんたちが大変親切に案内してくださいました。すれ違う生徒さんたちが皆さん挨拶してくださって嬉しかったです。

■7月の試験に向けてパソコンの早打ちを練習していました。どの生徒さんたちも真剣で一生懸命取り組んでいました。

生徒さん一人一人の目標に向かって頑張る姿に感動しました。自然が豊かな中で先生方の熱心な指導は他の講座でも感じられました。



スケードストリートによる模擬交通事故見学

## 進路指導室だより



今年も進路指導相談員として12月まで週3日就職活動活動支援員小口八洲男先生が来校して就職活動のサポートをしてくださいます。今年の就職の傾向についてうかがいました。「3.11の震災以降、県内の求人は情報・サービス・販売を中心に減少している。企業が求めるのは、会社が目指す方向をともに目指せる人材であり、そのためには学力もさることながら、**人間性が最も重視される**。最近では集団面接も増え、積極性やコミュニケーション能力がもとめられる。**挨拶ができることは当然のこと**、文化祭・クラブ活動・授業等の高校生活の中で、**がんばった事を一つでも**

言えることが面接試験では求められる。」これからの3年生の健闘を期待します。

## 相談室だより

ウイズキャリアサポートセンター発達障害支援専門員である新保文彦先生による職員研修会を開きました。心の問題は早期発見・早期療育が重要であり、「困った子は困っている子」という周囲の認識が必要です。御家庭と協力しながら取り組んでまいりたいと考えておりますので何か心配な事がありましたら遠慮なく相談室を利用してください。

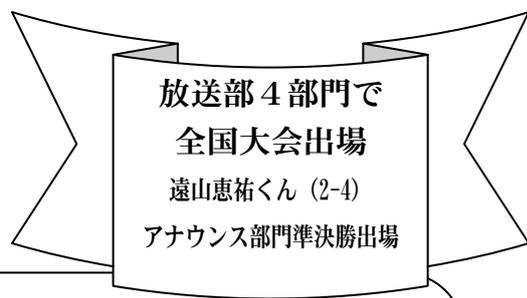
## 生徒会だより

### ●6・7月に実施された各運動部の県大会・高校野球結果

陸上 走り高跳び・円盤投げ女子・男子ハンマー投げ出場 男子バレー2回戦敗退

卓球 団体戦 対屋代高校2-3敗退・ダブルス2ペア2回戦敗退

女子ソフトボール 対飯田風越10-0敗戦 野球部 対岡谷工業8-4敗戦



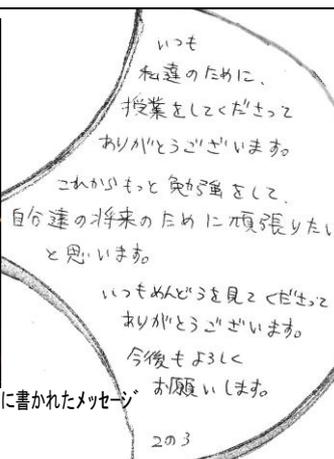
放送部4部門で  
全国大会出場  
遠山恵祐くん(2-4)  
アナウンス部門準決勝出場

生徒会議長 塩原さん 副議長 高橋さんより

昨年度からハッピーウィークという週間を生徒会で作っています。これは、「**全校を笑顔にしよう**」を合言葉に、メッセージカードを通して、普段口にはできない感謝の気持ちを伝えあおうとするものです。今年は副会長の佐々木さんのアイデアで鯉のぼりの形にしたうろこの一枚一枚に、全校生徒一人一人が先生への感謝の気持ちを書くことになりました。絵は漫画研究会の皆さんに描いていただき素敵な出来上がりになりました。完成してみると、全校生徒がそれぞれ先生への感謝の気持ちを、自分が思っていたよりもずっと持っていることがわかりました。



執行部役員による記念撮影



うろこに書かれたメッセージ



クリスマスマッチより

今年度の本校の教育重点目標の中に「**全職員の協力のもと、生徒と心を通わせ**、基本的な生活習慣の確立を図る」という項目があります。学習活動も、特別活動も、人と人との信頼感があって花開くことは言うまでもありませんが、生徒の側から自主的に、教職員に向かって感謝のメッセージを伝えてくれたこの生徒会の取り組みは、私達教職員の心を暖め、励ましてくれるものでした。生徒の皆さん、ありがとうございました。